

# 校長室より

令和6年5月1日(水)

「ふくい桜マラソン」



ずいぶん前のことになりますが、3月31日に福井県内最大規模のフルマラソン大会「ふくい桜マラソン2024」が福井市と坂井市にまたがるコースで開かれました。

北陸新幹線県内開業から2週間がたち、桜が花をつけ始めた福井の街を、1万3千人を超えるのランナーが春風のように駆け抜けました。あの大迫傑選手も出場し、大会に花を添えてくれました。

幸い、私の自宅はマラソンコースの近くだったため、当日は、一家全員で沿道から応援しようということになりました。

沿道に出て、まず驚いたのが、ランナーの数の多さです。コース幅いっぱい途切れることなくランナーがやってきます。ランナーは桃色の記念Tシャツを着ている人が多かったため、まるで桜の花が川の流れるようにやってくる感じがしました。

次に驚いたのが、沿道からの声援です。ある人は「がんばれ」という声で、ある人は「拍手」で、またある人は「笑顔」で…というように思い思いの応援でした。おそらく、ランナーもこれだけの声援を受ければたくさんのパワーをもらえたのではないのでしょうか。また、声援に対して、たくさんのランナーが「ありがとう!」と返してくれたのも印象的でした。

生まれて初めてフルマラソンの様子を目の当たりにすることができましたが、そこにはテレビの画面で見る世界とは全く異なるあたたかい人と人とのふれあいがありました。

私は、この感動を味わうために、来年もランナーとしてではなく、ぜひ応援でがんばろうかなと思いました。